

ベンチャー・ビジネス起業研究

《講義内容》

まず、起業体験者、第一線で活躍している沖縄の経営者、企業者の活動を取材編集作成したケース・スタディー・ビデオの教材（放送大学テレビ講座など）を活用して、短時間で沖縄ベンチャー・ビジネスの実態を理解させる。さらに企業の特徴をビジネス・モデルとしてどう捉え、まとめるかのトレーニングをする。そして、受講生に起業テーマを設定させ、前述のケース・スタディーを比較教材にして「沖縄の地域差別化戦略」に基づく事業計画書（記入シート・マニュアルを準備）を作成させる。プレゼンテーションの訓練をした上で、実務家を集めて各自のプランを発表させ、評価、コメントをもらう。

《授業の流れ》

- 1) 日本におけるベンチャー・ブームを中心にして、その背景、制度の整備とその変更などを中心にして、日本のベンチャー史を概観する。
- 2) ベンチャー・ビジネスについての、いわゆる一般理論、特にその経営戦略、ビジネス・モデルを中心に解説、学ばせる。
- 3) 受講生に起業テーマを設定させ、ビジネス・モデルを作成させる旨、授業の初めの段階で伝える。このことを常に考えながら主体的に受講させる。
- 4) 沖縄の代表的なベンチャー企業について映像取材資料集積があり、これを編集した CD-ROM を事前に受講者へ配布し、事前学習をさせる。
- 5) 学部の「ベンチャー公開講座（沖縄経済・企業論入門）」での特別講師による授業にも参加してもらい、ベンチャー企業経営者から直接、話も聞いてもらう。
- 6) 4)、5)に基づいて受講生に各企業の「経営戦略」、そのエッセンスとしての「ビジネス・モデル」を抽出させる。
- 7) これまでの講義内容を踏まえて、沖縄の持つ地域特性（差別化）に基づく、経営戦略について受講生とディスカッションをして、各自の認識を深める。
- 8) 各受講生に起業テーマ（沖縄地域差別化戦略）、その経営戦略、ビジネス・モデルを発表させ、レポートとしてまとめさせる。
- 9) プレゼンテーションのトレーニングをした上で、沖縄のベンチャー起業（5）の特別講師）も参加していただき発表会をし、コメント、ディスカッションをする。
- 10) 9)のコメント、ディスカッションを踏まえてレポートを加筆、修正して提出させる。